

13. 情報システム運用委員会から

(1) 新しい英文ページの公開

情報システム運用委員会では、新しい英文ページを作成・公開しました。トップページの URL は

<http://mathsoc.jp/en/>

です。従来の英文ページの URL にアクセスすると、このページに転送されるように設定してありますが、数学会の英文トップページをリンクされている場合は、設定の変更をお願いいたします。

今後は、内容の充実をはかると同時に適時性を高めていきたいと思っています。会員の皆様のご協力をお願いいたします。

(2) 日本における国際会議の英文ページ

数学会の英文ページの充実をはかるために、日本における国際会議のページを設けることにしました。日本で開催されます国際会議の情報がより広く世界で流通することを目指すためです。また、留学生やポスドク研究者として日本に長期滞在する外国人若手研究者も顕著に増加していますが、国際会議の情報が英文で集約されていれば彼らの研究環境をより快適なものにできると思います。

全ての講演が英語でなされる数学に関する国際会議を開催される場合は、情報システム運用委員会 [netadmin \(at\) mathsoc.jp](mailto:netadmin@mathsoc.jp) または事務局まで以下のデータを英文でご連絡ください。

(i) 会議名 (ii) 主催機関および主催者 (iii) 開催期間、場所 (iv) 日本数学会の共催・後援などの有無について (v) 英文ページの URL

国際会議の英文ページの URL は

<http://mathsoc.jp/en/meeting/ws.html>

ですが、英文トップページの左側のメニューからリンクすることにします。

(3) 日本数学会のニュースの RSS の公開について

日本数学会では web 上のニュースを、

- (1) 和文トップページにおけるニュース欄、
- (2) 会員向けのページにおけるニュース欄、
- (3) 英文ページにおけるニュース欄

において公開しております。これらのニュー

スを和文・英文の2系統に分けて、RSS リーダーで読める形でも発信しております。

Firefox などの標準的なブラウザをお使いの場合、ニュース欄にあるオレンジ色のアイコンをクリックすれば、RSS リーダーの設定ができるようになっております。

(4) カレンダーの公開

日本数学会のトップページ <http://mathsoc.jp> のメニューに日本数学会のカレンダーを公開しています。現在は数学会のきわめて公式な日程のみを記入することに留めておりますが、使っていますシステムでは外部の様々なカレンダーとの関係が可能で、いくつかの数学教室のセミナー情報との関係に関する実験も行っていきたいと考えております。

(5) データベース専門部会の設置

日本におけるジャーナルの電子化の進行に伴って、文献のメタデータの収集・蓄積とそれを効果的に公開するポータル必要性が高まってきました。これは、World Digital Mathematical Library (WDML) の構築が検討されてきたころからの課題でもありました。情報システム運用委員会では、この目的のために新たにデータベース専門部会を設けることにしました。委員は
戸瀬 信之 (担当運営委員)
麻生 和彦 (専門委員)
行木 孝夫 (専門委員)
の3名で、任期は2010年6月末日とします。この委員会の任務の中には、数学に関する講演ビデオのデータベース作成や日本数学会の歴史に関するデジタルデータの整理・蓄積も入っております。

(6) サーチエンジンについて

すでにお気づきの会員も多いかと思いますが、日本数学会のトップページ、会員向けのページ、一般向けの情報のページ、英文トップページの右上で Google のカスタム検索ができるようになっています。この検索を用いれば、多岐多様にわたる日本数学会の情報を見付けやすくなります。英文ページでは、英文の情報のみを検索できるようになっていま



す。また主に mathsoc.jp 内の情報のみを検索するように設定されております。

(7) 分科会のアカウント

すでに「数学通信」13巻4号でもご案内いたしました。希望される分科会は、数学会のメインのサーバー mathsoc.jp にアカウントを設けることができます。希望される場合は情報システム運用委員会までご連絡ください。

(8) ワークショップ「数学ソフトウェアとフリードキュメント VIII」

東京大学大学院数理科学研究科における年会の前日に、情報システム運用委員会の後援で表記のワークショップが下記の要領で開催されました。

記

開催日時：3月25日(水) 13:00～18:00

開催場所：東京大学駒場キャンパス数理科学研究科棟 002 講義室

プログラム：

13:00—13:50 青井久(山梨英和大学)、梅垣敦紀(早稲田大学高等研究所)、角皆宏(上智大学)

「KNOPPIX/Math 環境を利用した社会人講座の実践例 ～上智大学コミュニティカレッジ「実験から始まる数学」シリーズの紹介～」

14:00—14:50 行木孝夫(北海道大学)

「日本の数学関係ジャーナルの状況とポータルとしての仮想 DML の構築」

15:00—15:50 和地輝仁(北海道工業大学)

「GeoGebra の日本語への翻訳の現状と問題点」

16:10—17:10 藤吉弘亘(中部大学)

招待講演「ハイビジョン映像からの講義映像の自動生成とその効果」

以上

(情報システム運用委員会委員長

戸瀬信之 記)